

2026年6月1日

2026年度 産総研イノベーションスクール 若手研究人材育成事業 研究基礎力育成コース（DCコース）スクール生公募

産総研イノベーションスクールは、産総研法に基づく産業技術人材の育成制度として2008年に発足し、2026年度で20期目を迎えました。若手研究人材育成事業では、様々な社会課題に挑戦してイノベーションを創出する人材を育成するための2つのコースを開講しています。毎年度10月に開講する「研究基礎力育成コース（DCコース）」は、**大学院生・大学院進学予定の学部4年生**を対象とした半年間（10月～翌年3月）のコースです。

将来、研究人材として自立するための基礎力を磨くことを目的として、産総研トップ研究者による講義のほか、プレゼンテーションやコミュニケーションスキル、論文・申請書の作成方法、キャリアデザイン等に関する講義・演習（オンライン）を提供します。また、産総研での研究の実践（希望者のみ）、外部成果発表、専門分野の異なるスクール生らとの交流等を通じ、研究人材としての基礎力の向上だけでなく、**自己の再発見、キャリアプラン構築、人的ネットワーク作り**をサポートします。

大学院生・大学院進学予定の学部4年生の皆さんの積極的な応募をお待ちしています。

2026年度 産総研イノベーションスクール（若手研究人材育成事業） 研究基礎力育成コース（DCコース）公募要項

カリキュラム

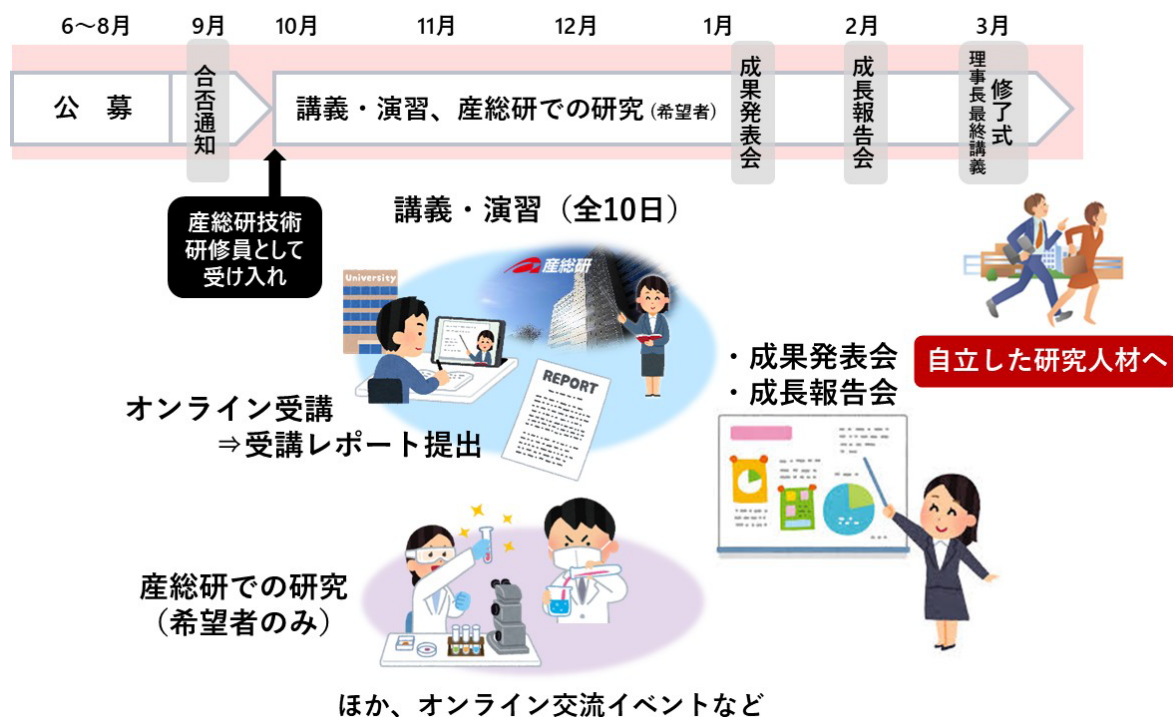
【講義・演習及び行事日程】

- ・2026年10月19～23日：開講式、第1回講義・演習（オンライン、別紙参照）
- ・2026年11月16～20日：第2回講義・演習（オンライン、別紙参照）
- ・2027年1月下旬：外部成果発表会
（SATテクノロジー・ショーケース¹、つくば国際会議場）
- ・2027年2月上旬：成長報告会（オンライン）
- ・2027年3月上旬：理事長最終講義、修了式（ハイブリッド）
（産総研で研究を実施する方）
- ・2026年10月～2027年3月：左記内の希望する期間、産総研受入責任者の下で研究²

¹つくばサイエンス・アカデミー（SAT）主催のイベントです。参加費は無料、旅費・宿泊費は若手研究人材育成事務局が負担します。


²希望者のみ。産総研受入責任者に研究費を支給します。


10月からの半年間のコース



応募資格条件

- ・修士・博士課程の大学院生（6年制大学の5・6年生を含む）、大学院進学予定の学部4年生
- ・過去に本コースに参加した実績がないこと
- ・オンライン講義・演習に対応可能な通信環境を自身で準備できること
- ・日本語で実施される講義・演習に対応できること（英語字幕付き Zoom を使用予定）
- ・原則として全ての講義・演習、及び行事に参加できること
（やむを得ない事情で参加できない場合は事前に届出のこと。講義・演習は後日オンデマンドで受講のこと）
- ・講義・演習の受講レポートを提出できること
（修了には受講レポートの提出が必要です。提出されたレポート等は、スクールの運営目

	<p>的のため、講師及び産総研の関係者が閲覧・利用します。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次項に記載の応募書類・個人情報の取り扱い方針に同意できること ・本事業の記録、広報、運営を目的とした写真・動画の撮影・利用方針に同意できること <p>写真・動画の撮影・利用方針</p> <p>*本事業では、記録や広報（産総研公式ウェブサイト・SNS・ニュースレター等）、運営を目的に、写真・動画の撮影・利用を行います。</p> <p>*個人を識別できない写真・動画（講義室後方からの写真等）については、事前のお声がけなく撮影・利用いたします。</p> <p>*個人を識別可能な写真・動画（集合写真等）については、原則として事前にお声がけの上撮影します。個人を識別可能な写真・動画の撮影・利用を希望されない場合は、事務局にお申し出いただき、被写体とならないよう対応いただきます。</p>
<p>提出書類</p>	<p>エントリー（Forms 入力）後、事務局から送信するメールの指示に従い、以下の書類を提出してください。</p> <p><一次審査で必要な書類></p> <ol style="list-style-type: none"> ① 履歴書 ② 居住性等に関する確認書（PDF³で提出）（現在、産総研の技術研修員の方は不要） ③ 自己アピール票 ④ 所属大学の指導教員の承諾書(PDF³で提出) <p>一次審査合格後、事務局からの指示に従い、以下の書類を提出してください。</p> <p><二次審査で必要な書類></p> <ol style="list-style-type: none"> ⑤ 技術研修申請書、学生教育研究災害傷害保険に加入していることを証する書面の写し（現在、産総研の技術研修員の方は不要） ⑥ 産総研受入責任者の承諾書⁴(PDF³で提出) ⑦ 誓約書(PDF³で提出) <p>³ ②、④、⑥、⑦については、印刷・署名後の書類を PDF ファイルにして提出ください。</p> <p>⁴ 受入責任者が決まっている方は応募前に受入責任者に直接コンタクトの上「⑥ 産総研受入責任者の承諾書」を準備してください。産総研での研究を希望し、<u>受入責任者が決まっていない方は</u>、希望する領域・研究ユニット等のウェブサイトのほか、下記のサイト（産総研：研究成果記事一覧）も参照の上、受入責任者を見つけてください。</p> <p>https://www.aist.go.jp/aist_j/list/l_research_research.html</p> <p>事務局が産総研研究者とのマッチング支援を行うことも可能です（成立を保証するものではありません）。</p> <p>産総研での研究を希望しない場合（講義・演習のみ参加の場合）は、事務局受入れで対応します。</p> <p>応募書類・個人情報の取り扱い方針</p> <p>*応募に際し提出いただく書類及び個人情報については、審査及び本事業の運営に必要な範囲で利用し、応募者の同意なく他の目的には利用しません。</p> <p>*提出いただいた応募書類は返却いたしません。</p> <p>*審査終了後、合格者の応募書類を除く全ての応募書類について責任を持って破棄いたします。</p>
<p>エントリー方法</p>	<p>以下の公募サイトよりエントリー（Forms 入力）してください。</p> <p>https://unit.aist.go.jp/innhr/inn-s/DC_course/entry.html</p>  <p>エントリー完了後、事務局よりメールで応募書類の提出方法・期限について連絡します。翌日までにメールが届かない場合は事務局にお問い合わせください（8月12～14日は返信が遅れる可能性があります）。</p>

<p>・ 期 限</p>	<p>エントリー期限</p> <ul style="list-style-type: none"> 産総研での研究を希望しているが、受入責任者が未定の方（事務局によるマッチング支援を希望する方）： 8月3日（月）14:00 厳守 産総研での研究を希望しない方、産総研受入責任者が決まっている方（事務局によるマッチング支援不要の方）： 8月17日（月）14:00 厳守
<p>選 考 方 法</p>	<ul style="list-style-type: none"> 一次審査：提出書類①～④に基づき審査 二次審査：提出書類⑤～⑦に基づき審査 <p>*二次審査後の合否通知（メール）は2026年9月上旬を予定しています。 *合否に関する個別の問い合わせには回答できません。</p>
<p>参 加 費</p>	<p>無料</p>
<p>募 集 人 数</p>	<p>100名程度（2025年度実績：82名）</p>
<p>問 合 先</p>	<p>〒305-8560 茨城県つくば市梅園 1-1-1 国立研究開発法人産業技術総合研究所 中央事業所 つくば本部・情報技術共同研究棟 9階 イノベーション人材部 若手研究人材育成事務局（公募担当） メール：school-saiyou-ml@aist.go.jp</p> <p>産総研イノベーションスクール 若手研究人材育成事業 公式ウェブサイト https://unit.aist.go.jp/innhr/inn-s/index.html</p> 

[別紙]

研究基礎力育成コース（DC コース）

講義・演習内容の例

講義・演習

人間力を磨く	
マナー・コミュニケーション研修	ビジネスを円滑に進める上で必要となる各種作法を、実践形式で学ぶ。
プレゼン塾	異分野コミュニケーションに必要なプレゼンテーション方法について学ぶ。
大学院生のキャリアデザイン	民間企業等が求める研究者の資質について理解し、今後の進路・就業先選択における指針とする。
研究公正の基礎知識	研究者が守るべき規範や研究不正行為の事例等について学び、社会における研究者の立場と役割を理解する。
連携力を学ぶ	
企業・業界を知るために	企業・業界の構造や特徴を理解し、就業先調査における重要なポイントを学び、今後の進路選択における指針を得る。
コーチング研修	持続的な学びとその定着化のためのコーチングのスキルと、異分野連携力を高めるためのスキルを身に着ける。
スクール生交流会	スクール生同士でテーマを決めて交流することで、分野・大学・年次を超えた人的ネットワークを形成する。
研究力を育む	
考える力の鍛え方	大学院生や研究者に必要とされる考える力・創造力について、それらは何なのか、どのように鍛えられるのかを学ぶ
研究論文とは何か	研究論文はどうあるべきか・どう書くべきかについて学ぶ。
トップジャーナルに投稿する際の論文作成法	研究論文の査読から掲載までの手続き、学術雑誌に論文を投稿する際の対策等について学ぶ。
研究費を獲得するということ	学振特別研究員への応募を例にとり、競争的研究費制度への応募方法、応募書類の書き方を学ぶ。
研究者のための知的財産	研究者として知っておくべき知財の基礎・戦略について学ぶ。
産総研の研究紹介（数件）	産総研を代表する研究者の研究紹介を通じて、最新の研究成果、分野動向や研究の取り組み方等について学ぶ。

① 履歴書

ふりがな			性別 (※)		写真貼付 3カ月以内に撮影した 正面、無帽、無背景の 顔写真
氏名					
生年月日	(西暦) 年 月 日生 (満才)	2026年 10月 1日時点	国籍		
現住所	(現住所) 〒				
	(電話)	(携帯電話)			
	(連絡先) 〒	(現住所以外の連絡先(研究室、実家等))			
	(電話)				
Email	(PCのみ)				
学歴 (学科・専攻 まで記入)	(高校)	卒業・卒業見込・中退等から該当する項目を残し、その他を削除のこと (この枠は提出時に削除)	(西暦) 年 月 入学	(西暦) 年 月 卒業	
	(大学)		(西暦) 年 月 入学	(西暦) 年 月 卒・卒見・中退	
	行不足の場合 備考欄または 別紙に記載	(大学・大学院等)		(西暦) 年 月 入学	(西暦) 年 月 卒・修・修見・中退
		(大学・大学院等)		(西暦) 年 月 入学	(西暦) 年 月 卒・修・修見・中退
学士号 (取得済の方)	論文題目				
	指導教員名				
修士号 (取得済の方)	論文題目				
	指導教員名				
職歴 その他	期 間	勤務先・所属・職名			
	(西暦) 年 月～ 年 月				
行不足の場合 備考欄または 別紙に記載	※産総研での勤務・受入実績がある場合は、産総研IDと共に全て記載のこと (例)・産総研〇〇研究センター第二号契約職員(テクニカルスタッフ)、産総研ID: A12345 ・産総研〇〇研究センター第七号契約職員(リサーチアシスタント:RA、産総研ID: A12345) ・学振特別研究員 DC1(受入機関:産総研〇〇研究センター、産総研ID: A12345) ※現職において任期が定められている場合は、任期終了年月(予定)を記入のこと				
主な専門分野	(キーワード5つ程度)				
資格免許	(日本語能力試験資格(JLPT)等はここに記載)	海外在住・留学等の経験 (高校卒業以降)	国名()	機関名()	
趣味娯楽			期間:(西暦) 年 月～ 年 月		
健康状況 (※)			目的:		
配偶者(※)	有・無 (扶養義務 有・無)	扶養親族(※) (配偶者除く)	子 人 / その他 人		
備考	(経歴に空白期間(大学入学準備のため予備校に通学等)がある場合はここに記載)				

(※)記載は任意(未記載可)

枠の高さを適宜調整して1ページに収め、Word形式のまま提出のこと

②居住性等に関する確認書

エントリー後、事務局より送付する様式を使用しご作成下さい。

③ 自己アピール票 (1 頁)

フリガナ：

氏名：

1. これまでの研究活動や自己アピール

(表やグラフ、写真等も使用可。研究歴の短い方(学部4年生等)は、高校での自由研究や課外活動の内容、あるいは今後の研究予定でも結構です。提出時には赤字部分を削除のこと)

2. 抱負・将来ビジョン

(1と2の分量割合は適宜変更可。全体を1ページに収め、word形式のまま提出のこと)

④ 所属大学の指導教員の承諾書

年 月 日

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
イノベーション人材部長 宮崎 歴 殿

所属大学：
郵便番号・住所：
役職：
氏名：
電話：
メールアドレス：

ご署名： _____

下記応募者が、産総研イノベーションスクールが実施する 2026 年度研究基礎力育成コースに応募すること、及び、同コースの講義・演習や各種行事（開講式、外部成果発表会、成長報告会、修了式）に参加することを承諾いたします。

記

応募者氏名：

以上

⑤ 技術研修申請書

2026年〇月〇〇日

国立研究開発法人産業技術総合研究所技術研修申請書

国立研究開発法人産業技術総合研究所

理事長 石村 和彦 殿

代表者は、大学の場合、学部長、学
科長、教授等となります。吹き出し
は全て削除して提出してください。

住 所
所 属 大 学 名
代表者の職名、氏名

下記のとおり、国立研究開発法人産業技術総合研究所技術研修規程を承諾し、技術研修について申請します。

赤字を黒字で上書きして提出してく
ださい。

- 1 技術研修の目的 産 研究を例に、研究の提案・進め方・社会実装等の方法を習得する
- 2 技術研修の内容 産 内部及び外部の講師による講義の受講等、研究実施
- 3 技術研修希望期間 2026年10月1日から2027年3月31日まで（6か月間）
- 4 希望する技術研修担当者

所属 〇〇研究部門

氏名 〇〇 〇〇〇〇 〇〇

- 5 技術研修を受けようとする者

氏名 〇〇 〇〇

年齢 〇歳

右上の日付における年齢

現在の職名 〇〇大学大学院〇〇研究科 博士後期課程1年

- 6 その他

・学生の場合は以下に□にチェック願います。

連携大学院制度 インターンシップ 学生実習

・事務担当者の連絡先（必ず記載してください。）

機関名 〇〇大学

所属 〇〇学部〇〇専攻

氏名 〇〇 〇〇

TEL 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

・添付書類

技術研修を受けようとする者の履歴書

学生教育研究災害傷害保険に加入していることを証する書面の写し

⑥ 産総研受入責任者の承諾書

年 月 日

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
イノベーション人材部長 宮崎 歴 殿

所属ユニット：

氏名：

署名： _____

2026年度産総研イノベーションスクール(若手研究人材育成事業)の研究基礎力育成コース(DCコース)において、受入責任者(技術研修担当者)として下記応募者を技術研修員として受け入れ、研究指導ならびに同コース(講義・演習や外部成果発表会・成長報告会等)への参加を支援すること、受入中に必要な事務手続きを行うことを承諾いたします。また、下記応募者の受け入れについて、所属ユニット長の下承を得ています。

記

応募者氏名：

以上

⑦ 誓約書

年 月 日

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
イノベーション人材部長 宮崎 歴 殿

私は、産総研イノベーションスクール（若手研究人材育成事業）の2026年度研究基礎力育成コース（DCコース）に応募するにあたり、本事業における応募書類・個人情報の取り扱い方針、及び写真・動画の撮影・利用方針に同意するとともに、下記のことを誓約致します。

1. 特段の事由のない限り、講義・演習、及び産総研イノベーションスクールが指定する行事（開講式、外部成果報告会、成長報告会、修了式）に参加いたします。
2. その他、産総研イノベーションスクールの指示・指導、決定に従います。

所属大学：

氏名：

署名： _____